

出血傾向

和賀クリニック 院長
和賀 一雄 先生

え、どうして？腕に内出血の斑点ができています。鼻血が止まらないの。テレビドラマ「赤い疑惑」の主人公は、白血病による出血傾向で、恋人に見守られて死んでいきました。山口百恵さん、三浦友和さん主演、視聴率 30% 越えの超人気シリーズでした。（古い話で申し訳ありません。）この後 2 人は結婚し、百恵さんは 20 歳で引退。この番組の影響は絶大で、アザができやすいのです。白血病じゃないですよ。なんて、来院する人が今だにいるんですよ。

ぶつけた覚えもないのに、気が付くと体のあちこちにアザができています。鼻血、歯茎からの出血を繰り返し、なかなか止まらない。ちょっとぶついただけなのに大きなアザになってしまう。このような症状を出血傾向と言います。体の表面ならまだしも、体の奥深く（頭の中の血管など）の出血だと、命に係わることもあります。では、なぜ出血傾向がおこるのか？体をなにかにぶつけた時など、血管に小さな傷ができると、血液の中にある血小板そして凝固因子が集まってきて傷をふさぐ。通常は、ほんの 1~2 分で傷をふさいでしまう。血管の小さな傷はできたことすらわからないくらいの速さで修復される。表面上は、なにもなかったかのように。しかし、血小板や凝固因子が少ない場合には、なかなか傷がふさがらない。しだいに、じわじわと出血してくる。生まれつき凝固因子が少なく出血しやすい病気が血友病ですが、多くは後天性。つまり、人生のある時期から突然起こってくるものです。血小板減少紫斑病、再生不良性貧血、白血病、癌の骨髄転移等けっこう重病なこともある。ですから、出血傾向？と思ったら早めに専門医の診察を受けるべし。また、最近多いのが脳梗塞、心筋梗塞等の予防で血小板や凝固因子の働きを調節する薬を内服している人。ワーファリン、プラビックス、アスピリン等です。これらの薬を内服している人に出血傾向が出たら、薬の効きすぎの可能性があるので、すぐに主治医に御相談下さい。